

見逃さないで!お子さんの小さなサインを!

～いじめ問題の解決に向けた家庭でのかかわり方～

いじめられている、あるいは、いじめている子どもの言動には変化が現れます。次のQ&Aを参考に、いじめの芽を早く見つけ、素早く対応する方法について、一緒に考えてみましょう。

Q:うちの子、いつもと違う気がするんだけど……?

A:まずは、次の項目をチェック

いじめ発見チェック項目

I 「いじめ」に遭っているかもしれない子どものチェックリスト

- 登校時間になると、頭痛・腹痛等の体調不良を訴えることが増えた。
- 衣服の汚れが身につくようになった
- 理由のわからないアザやケガがある。
- 学校のことを話さなくなった。
- 食欲が急に落ちた。
- 親しかった友だちと遊ばなくなった。
- 電話に出たがらない。
- 「転校したい」「退部したい」などと言う。
- 学用品がなくなったり、落書きされたりしている。
- 必要以上に小遣いをほしがる。
- ささいなことで怒ったり、八つ当たりをしたりするようになった。
- 親を避け、部屋に閉じこもりがちになった。



II 「いじめ」をしているかもしれない子どものチェックリスト

- 借り物が多くなるなど、買っていないものを持っていることが増えた。
- 金遣いが荒くなった。
- 小遣いの割に、遊びや服装が派手になった。
- 家族に反抗的な態度が増えた。
- 外出が増えた。
- 刃物に強い興味をもつようになった。
- 家族との会話が少なくなった。
- 言葉遣いが荒くなった。
- 家族に暴力をふるうようになった
- 人を軽蔑するような発言がみられるようになった。
- 表情が陰しくなった。
- 友人関係に上下が感じられる。



Q:当てはまる項目が多いけど、どう対応すればいいの？

A:まずはしっかりお子さんへ寄り添って話を聞きましょう！

☆家庭での話し合いのポイント

○話しやすい雰囲気をつくりましょう。

「食事しながら」「テレビを見ながら」「ドライブしながら」など、話をする「時」と「場」を工夫し、話しやすい雰囲気をつくりましょう。また、お子さんのプライドを理解し、兄弟がいないときに話すなどの配慮も必要です。

☆話の聞き方のポイント

○ありのままを受け止めましょう。

「あなたにも悪いところがあるんじゃないの」と言ったり、頭ごなしにしかったりすると、言えなくなるか、都合のいいことしか言わなくなります。

○お子さんの気がすむまで話をさせましょう。

同じ話を繰り返しているうちに、別のことを思い出すこともあります。

○心を理解し、しっかり寄り添いましょう。

お子さんの痛みは本人にしか分かりません。

○しつこく聞き出すのはやめましょう。

質問攻めは、かえてお子さんを追いつめることにもなります。

○結論を急いではいけません。

まずは、本人がどうしたいのかしっかり聴き、考える時間を与えましょう。そして、一緒に考えましょう。



◎お子さんがいじめられている場合の対応

・精神的な苦痛を受け止める。 ・心配や不安を取り除く。 ・一番の味方であることを伝える

◎お子さんがいじめている場合の対応

・事実と経過を確認する。 ・理由を聞き、心の内を理解する。 ・相手の気持ちを考えさせる。

◎お子さんがいじめを知っている場合の対応

・いじめを見て見ぬふりをしたり、はやし立てたりする行為もいじめと同じことであることを理解させる。

Q:いじめを生まないためには、日ごろからどうすればいいの？

A:普段からつながりを大切にしましょう！

☆親子のつながり

毎日短い時間でいいですから、お子さんことだけを考え、見つめ、話をする時間をもちましょう。

【日ごろのかがわりチェック】

- 会話をしながら、楽しい食事を心かかげている。
- お子さんと一緒に過ごすなど、成長に応じたかかわりをもっている。
- お子さんの思いを受け止めながら話を聞いている。
- お子さんのよいところを見つけてほめている。
- お子さんを大切に思う気持ちを、言葉や態度で伝えている。
- 善悪の判断や思いやりなど、人間として大切なことを教えている。

☆親同士のつながり

同級生の親同士や部活動、スポーツ少年団活動の親など、親同士のかかわりを少しでも多くもち、つながりを広げていきましょう。お子さんの対応に迷ったときなどに支え合える関係を、日ごろからつくっておくことが大切です。

☆学校とのつながり

学校と日ごろから連絡を取り合ったり、積極的に学校行事に参加したりしましょう。学校や担任との信頼関係ができ、学校の様子がよく分かると、お子さんの気持ちを理解しやすくなります。